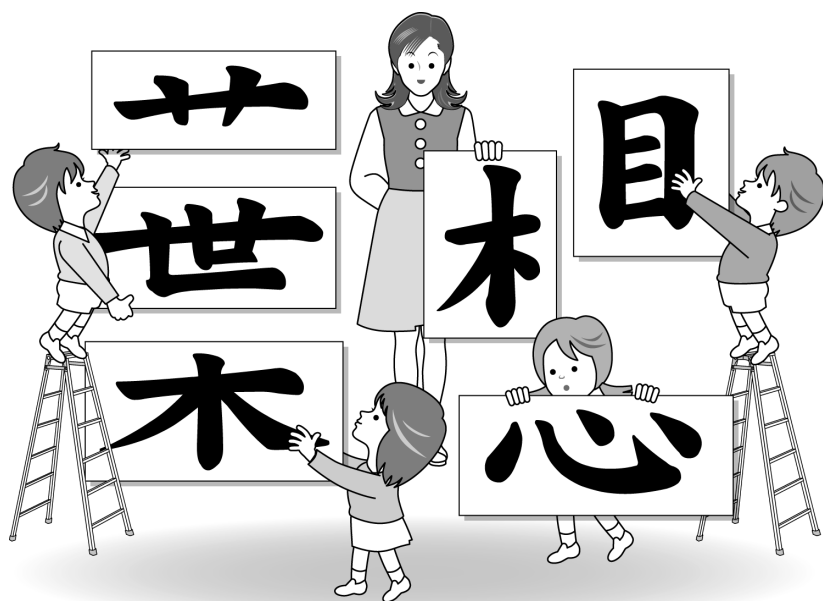


書いて覚えよう

書写学習【第23回】



広島県尾道市立向東小学校

藤井 浩治

▼文字のきまり

「三つの部分の

組立て方②」

文字をととのえて書くために
は、「文字のきまり」があります。
今回は「三つの部分の組立て
方②」です。「上・中・下」
「左・右・下」からできている
漢字の書き方にはいろいろなく
ふう（きまり）があります。ど
んなくふう（きまり）があるの
か、考えてみましょう。

① 「三つの部分（上・中・下）」の組立て方

（１）「上（かんむり）の部分」の
くふう

次の「葉」という漢字のように、「三つの部分（上・中・下）」で組立てられる漢字は、それぞれの部分にくふうがあります。一つずつ見ていきましょう。まず、①「上の部分（かんむり）」のくふうから考えます。

①と②の二つの「くさかんむり（㇏）」がありますが、「三つの部分」で組立てる場合は、どちらがととのっているのでしょうか。①は下部がそろっていませんが、②は下部がそろっています。正解は、下部がそろっている②の「くさかんむり（㇏）」です。

① ② ③

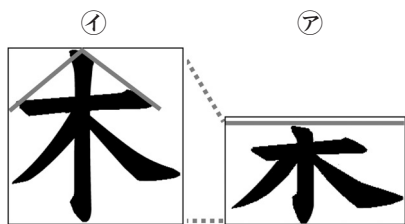
㇏

①

㇏

ではどうして、㇏の方がととのっているのでしょうか。それは、①「上の部分」と、②「中の部分」の組立て方に理由があります。

㇏は「くさかんむり（㇏）」の下部がそろって



次に、③「下の部分」のくふうについて考えます。
 ②と①の二つの「下の部分（木）」がありますが、「三つの部分」で組立てる場合は、どちらがとどのつていいるでしょうか。
 二つを比べてみると、②は上部を短くしてそろえる

(2) 「下の部分」のくふう

「三つの部分（上・中・下）」の組立て方のくふう①
 「上の部分（かんむり）」の下部を短くそろえる。



いるので、「世（中の部分）」とぶつかっているんですが、①は「くさかんむり（サ）」の下部がそろっていないため、「世（中の部分）」とぶつかってしまっています。
 そこで、「上の部分（かんむり）」の下部をそろえるのです。

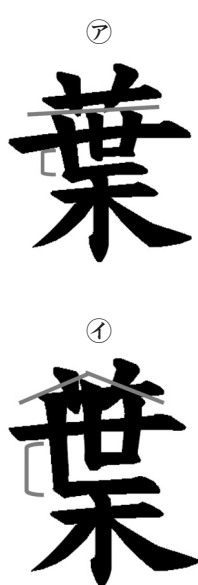
三つ目は、②「中の部分」のくふうについて考えます。
 ②と①の二つの「中の部分（世）」がありますが、「三つの部分」で組立てる場合は、どちらがとどのつていいるでしょうか。

(3) 「中の部分」のくふう

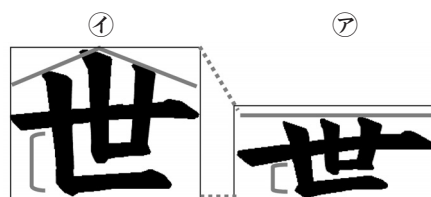
「三つの部分（上・中・下）」の組立て方のくふう②
 「下の部分」の上部を短くそろえる。



ていますが、①は上部がそろっていません、たて画が長すぎます。正解は②です。
 ではどうして、②の方がとどのつていいるのでしょうか。それは、「下の部分」と「中の部分」の組立て方に理由があります。
 ②は「下の部分（木）」の上部がそろっているため、「中の部分（世）」とぶつかっていませんが、①は「下の部分（木）」の上部が長く、そろっていないため、「中の部分（世）」とぶつかってしまっています。
 そこで、くふうの二つ目として、「下の部分」の上部を短くそろえるのです。



そこで、「中の部分」の上部と下部を短くそろえるのです。



二つをくらべてみると、②は上部がそろっていますが、①は上部がそろっていません。
 また、②は「中の部分」の下部を短くして全体のたてを短くしていますが、①は下部を長くしています。
 正解は、上部がそろって、下部の短い②の「中の部分（世）」です。

「三つの部分（上・中・下）」の
組立て方のくふう③

「中の部分」の上部と下部を短くそろえる。

(4) 「画の長短」のくふう

「三つの部分（上・中・下）」の漢字は、三つの部分が「たて」にならないでいるため、それぞれの部分の「たて画」を短くしなければ、ぶつかってしまふことについて説明してきました。

しかし、それぞれの部分の「横画」は長く書いてもぶつからないので、長くのびやかに書きます。ここで、「画の長短」のきまりを使うと、さらに字形をととのえることができます。

葉

上の「葉」を見てください。
「上の部分」「中の部分」「下の部分」の組立て方のきまりについて、うまくできています。

す。しかし、三本の横画がほぼ同じ長さで書かれていたため、少しもの足りませんね。

そこで、横画がいくつかある場合は、一本だけ長くして、そのほかは同じ長さにするのと、とのって見えます。

「画の長短」のきまりについては、「第2回」（平成25年5月号）に書いていますので、もう一度、見てみましょう。

葉三

一本だけ長く、ほかは同じ長さにする。

「三つの部分（上・中・下）」の
組立て方のくふう④

横画がいくつかある場合は、一本だけ長くし、そのほかは同じ長さにする。

(5) ほかの漢字で見てみよう

「三つの部分（上・中・下）」の漢字の組立て方のきまりを、ほかの漢字で見てみましょう。

「案」という漢字は「上の部分（ウ）」の下部を短くそろえます。次に「中の部分（女）」の上部を短くそろえます。つづいて「下の部分（木）」の上部を短くそろえます。最後に「女」の横画を一本だけ長くして完成です。

ウ 女 木 案

「三つの部分（上・中・下）」で
組立てる漢字

1年生 草 2年生 算茶答魚
3年生 等寒意葉鼻急暑受葉
4年生 案菜堂愛勇賞器察管
5年生 常築夢寄
6年生 窓署憲蒸著奮密

② 「三つの部分（左・右・下）」の組立て方

(1) 「左の部分」のくふう

次の「想」という漢字のように、「三つの部分（左・右・下）」で組立てられる漢字は、それぞれの部分にくふうがあります。一つずつ見ていきましょう。まず、①「左の部分（木）」のくふうから考えます。

②と③の二つの「左の部分（木）」がありますが、「三つの部分」で組立てられる場合は、どちらがととのっているのでしょうか。①は右はしがそろっていませんが、②は右はしがそろっています。正解は、右はしがそろっている②の「左の部分（木）」です。

右はしをそろえるのは、「右の部分」とぶつからないようにするためです。

① ②
想

ア
木

イ
木

「三つの部分（左・右・下）」の
組立て方のくふう①
「左の部分（へん）」の右はしをそろえる。

(2) 「下の部分」と「左右の部分」
のくふう

心

想

相

次に、③「下の部分」のくふうについて考えます。
アの「心」を「下の部分」に組立てる場合は、「心」の高さを①のように短くします。
つづいて、ウのように組立てられた①②「左右の部分」の「たて画」を①のように短くします。これは、上下の部分の組立て方で学習したことと同じです。
「下の部分（心）」や「左右の部分（相）」の高さを短くするのは、「左右の部分」と「下の部分」がぶつからないようにするためです。

「三つの部分（左・右・下）」の
組立て方のくふう②
「左右の部分」と「下の部分」の高さをそれぞれ短くする。

(3) ほかの漢字で見てみよう

「三つの部分（左・右・下）」の組立て方のきをまりを、ほかの漢字で見えてみましょう。
「資」という漢字は、「左の部分（し）」の右はしをそろえます。次に「左右の部分（次）」の高さを短くします。つづいて「下の部分（貝）」の高さを短くします。そして、「左右の部分」と「下の部分」を組立てます。

次 資 貝

「三つの部分（左・右・下）」
で組立てる漢字
3年生 想 習 整
4年生 照 然 熱
5年生 貨 望 努
6年生 質 態 留
警 覧 翌
染 賃 熟
姿 装

(4) 「三つの部分（上・左・右）」
で組立てる漢字

ほかに、「左右の部分」を下において、「上の部分」と組立てる「三つの部分（上・左・右）」の漢字もあります。これまでのくふうを使うと組立てることができます。

次の「箱」という漢字を見てみましょう。まず、「上の部分（竹）」の下部をそろえます。次に、

箱

「左の部分（木）」の右はしをそろえます。最後に「左右の部分（相）」の高さを短くして、「上の部分（竹）」と組立てます。

「三つの部分（上・左・右）」で
組立てる漢字
1年生 花
2年生 前
3年生 落 箱 宿
4年生 最 節
6年生 筋

【参考文献】

『新・字形と筆順』宮澤正明著（光村図書出版）
『きれいな文字の書き方』宮澤正明著（二玄社）